

飛驒市民新聞

飛驒から2銘柄が部門最高賞 インターナショナルワインチャレンジ2014

ワインと日本酒の国際的な品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)2014」の審査がこのほど行われ、飛驒地域の二酒造メーカーが出品した日本酒が、それぞれ部門最高となる「トロフィー賞」を受賞した。

IWCは、ワイン文化の振興や世界各地の優れたワインの販売促進などを目的に一九八四年に創設。毎年一万二千銘柄以上のワインが出品され、世界でも最大規模で權威

のある品評会とされている。日本酒造組合中央会青年部の働きかけにより、二〇〇七年からは日本酒を品評する「SAKE部門」も設置。今年から「スパークリング」「オーディナリー(大衆酒)」の二部門が新設され、合計七部門に七百二十五銘柄が出品された。

各部門ごとに金・銀・銅のメダル表彰があり、金メダルを受賞した中からそれぞれの部門の最高賞「トロフィー賞」が選ばれ、同賞を受賞すると、日



「トロフィー賞」受賞を喜ぶ平田専務(左)と渡辺社長(右)

が出品した「蓬萊上撰」と、高山市上二之町の平田酒造場(平田敬二社長)が出品した「熟成古酒 酔翁(すい

本大使館など公館でも優先的に用いられることとなるため、ブランド化や国際的な認知度向上につながるりやすくなるという。今回「トロフィー賞」に選ばれたのは、古川町の渡辺酒造店(渡辺久憲社長)

おう)の二銘柄。「蓬萊 上撰」は大衆酒ながら上品で優しい口当たりで、明治三年の創業以来生産されている渡辺酒造店の主力商品の一つ。今回は同品評会への初出品で、「オーディナリー」

の部の「トロフィー賞」に輝いた。「晩酌用のお酒を評価されて嬉しい。世界のVIPの口にふれ、認知度をあげるチャンス。海外の方にも飛驒に美味しい酒があると知ってもらいた。飛驒に来てもらえる魅力の発信につながれば」と渡辺社長(45)は受賞を喜ぶ。

「熟成古酒 酔翁」は「古酒」の部で「トロフィー賞」を受賞した。この酒は、平田酒造場が一九九六年に醸造し、同社の蔵で十九年にわたり熟成した貴重な古酒。二〇一一年にも同賞を受賞している。「昨年は銅メダルでしたが、

今年再びトロフィー賞をいただけました。特徴が分かれる古酒の部門で選ばれた事が嬉しいです」と同社の平田篤専務(38)。「最高賞を二つも飛驒の酒蔵が獲得し、飛驒の地酒のレベルが認められたのでは」。

七月十六日にロンドンで開かれるIWCの表彰式で、今回「トロフィー賞」を受賞した七銘柄の中から最も優れた日本酒に贈られる「チャンピオン・サケ」が発表されることになっており、両社ではこちらの受賞にも胸を膨らませている。

発行所
飛驒市民新聞社
発行人/古田千絵
岐阜県飛驒市古川町大野門159
TEL (0577) 73-7704

毎週土曜日発行
購読料/1部200円
1ヶ月700円
6ヶ月4000円
1ヶ年8000円